



その 276

クローズアップ21

「働く女性に寄り添うゴルフ場」を目指す 東松山カントリークラブ

女性のライフステージに合わせて働き方を柔軟に選べる環境作りに注力

相変わらず、ゴルフ場業界では深刻な人材不足が続いており、都道府県不問でコース管理同様、キャディ不足を認識しているゴルフ場が多いのが現状であろう。人材不足の解決策の一つとして、コース管理では無人の芝刈機の導入、レストランでは配膳ロボットやタブレット端末からのオーダーリングシステム、ロボット掃除機、フロントでは受付や精算の自動化といったDX化も業界で話題となっているが、50〜70代のゴルファーのプレー回数も多く、キャディ付きの需要はまだまだ根強い。

今回紹介する東松山カントリークラブ（27H、埼玉県）は株主会員制のゴルフ場。キャディ不足に伴い、昨年2月からSNSを活用してのキャディ募集を本格的に開始した。ただ単に始めたのではなく、キャディの仕事内容を細かく、そして定期的に投稿して、仕事内容そのものを知ってもらうことが狙いだという。

また、同CCではキャディと

して働く女性に寄り添う福利厚生制度を用意。女性のライフステージに合わせて働き方を柔軟に選べる環境作りに、非常に力を入れているという。

キャディの募集関連がメインのInstagram、TikTokといったSNSを立ち上げた経緯や、キャディの採用への考え方、福利厚生の充実等について、同CCの田村浩平取締役総支配人に話を聞くことができたので紹介したい。

キャディ業務の認知度を向上させて、採用につなげる

まず、主にキャディ関連がメインのInstagramを立ち上げた経緯について話を聞いた。



東松山CCの田村浩平取締役総支配人

Instagram、TikTok



「当クラブの顧問をしていただいてる社労士の方に、キャディやコース管理の求人が難しい」という相談をしていました。その中で、社労士の方のお知り合いで元リクルートに在籍しており、現在起業されている方が「採用に関して面白いことをやっている」とお聞きしました。実際にお会いしてみたところ、求人媒体に精通している方でした。その方にお聞きしたところ、若い世代の方はどこかで働こう

としても紙やネットの求人ではなく、SNSを見ているので、それを活用して採用活動を展開していると聞きました。いわゆる3K（きつい、汚い、危険）と言われている職場でSNSを活用し、実績が多数出ているそうです。当クラブの近隣ですと、熊谷市の運送業や建築現場で若い方が入社している——という話を聞きました。当クラブのある埼玉県東松山市は、埼玉県都都市部に比べて人口は少ない割

には働く場所が多いエリアなのです。求人に関しては厳しい状況です。ので、何もやらないと先に進まないの、その求人会社の方と私として当クラブのキャディマスターである久保田で相談し、まず一度SNS活用して採用をやってみようという話になり、キャディ募集をメインとしたSNS（Instagram、TikTok、Facebook、X（旧Twitter）

久保田キャディマスター



を2023年2月に立ち上げました」

キャディ募集のSNSを立ち上げた背景の一つとして、そもそもキャディの仕事内容は、どのようなものなのかを知ってもらうことも挙げられるという。ゴルフ業界人からすると、キャディの仕事内容はおおよそ把握はしているだろうが、ゴルフに携わったことがない人からすると、キャディ業務はまだまだ認知度は低いのが現状だ。

「ただSNSを制作して投稿しても広がりがないと思っていましたので、より広まるような、より拡散するような作り方を専門家である求人会社の方に行っていたんでいます。動画での

投稿も多く、InstagramやTikTokは特にアクセス数も多く、10万回以上の再生回数を記録した投稿もありました。投稿の内容や投稿の頻度も毎回、求人会社の方と当クラブの久保田キャディマスターが相談し、一緒になって投稿の制作を行っています。投稿の内容もキャディの仕事内容だけでなく、制服紹介や雨の日の動き方、1日の仕事の流れ、新人研修の様子など、様々な視点からの投稿を心掛けていきます。なお、動画の編集はやはりプロにお任せした方が見栄えもアクセス数も良いので、求人会社の方にお任せしています」（田村総支配人）

同CCは原則キャディ付きでのプレーだというが、来場者に対応できる人数を確保できていない状況だという。現在キャディの数は45名程度（パート・アルバイト含む）で、組数が多くなり厳しい状況になった際には、理解のあるメンバーにセルフプレーをお願いすることも少なくないという。同CCでも派遣キ

ヤデイを採用しているそうだが、やはり近隣にはゴルフ場も多く、取り合いになってしまおうという現状がある。

話は戻るが、動画でのキャデイの募集や仕事紹介がメンバーや従業員からも好評ということもあり、同CCではこれからコース管理に関しても同じような形式での投稿を行っていく予定だという。やはりコース管理業務もキャデイ業務と同様に認知度は低く、人材が集まらないことが背景にはある。まず仕事内容や一日の流れを知ってもらおう



未経験者でも安心してコースデビューできる万全の研修システムを完備

働く女性に寄りそう福利厚生制度を用意

「家庭や子育てと両立できる」
「体を動かすことが好き」
「家が近所で通いやすい」
「ゴルフが好きだ」
など、同CCで働くキャデイの動機は様々だ。

「新卒はこれまで通り、高校を訪問したり、求人を出したりはするのですけれど、その部分にあまり注力を固めないで、どちらかと言いますと、お子さんのいる若い主婦の方が良いのではないかと感じました。こちらに注力するために保育園や託児所と提携しました。保育園や託児所と提携していると、求人引つ掛かりやすい傾向があったりします。やはり主婦の方々は出勤の時間帯が大きく関係してきます。久保田キャディマスタから「出勤時間をずらしたら良いのでは？」と提案がありました。これは保育園の送り迎えや、学校が終わる時間に合わせ

60年の歴史で培ってきた教育ノウハウがある



て勤務シフトを柔軟に調整できる制度です。例えばで言いますと、毎朝8時半から9時の間に出勤し、15時から15時半の間に退勤できますので、保育園の送り迎えも問題なく行うことができます。当クラブは1ラウンドの業務が終わったら、拘束することはないので、すぐに帰ることもできます。

この「ママタイム制度」は数年前に始めました。正キャディが現在33名いるのですが、そのうちの11名がお子さんを保育園

「相互扶助」の精神に基づき、より良い業務を目指す社風が根付いている



や託児所に預けてから出勤しています。そういった方は離職率が低く、勤続年数も非常に長いです。またお子さんの急な発熱の時は、当日でも電話一本で気兼ねなく休める環境を完備しています。お子さんの成長に合わせてパートから正社員になられた方もいらつしやいます」（田村 総支配人）

その他の福利厚生として、自動車免許取得費用の補助等のサポート体制も整えている。また、同CCの最寄り駅である東武東



勤続年数が長いのが特徴

上線・森林公園駅から、無料送迎バス（10分弱）で通勤できるので免許のない人も安心できる。さらに休場日は無料でプレーできるのも魅力的で、200ヤードのドライビングレンジやアプローチの練習場も無料で利用できるという。シーズンオフは、研修も兼ねて近隣のゴルフ場でプレーできる機会もあるそうだ。同CCではキャディ採用に関しては従業員の紹介制度を設けているという。従業員が新しいキャディをゴルフ場に紹介し、新人研修を経て一人立ちすると



学校を卒業したばかりの20代からキャディ歴30年以上の70代までと幅広い世代の女性が活躍している

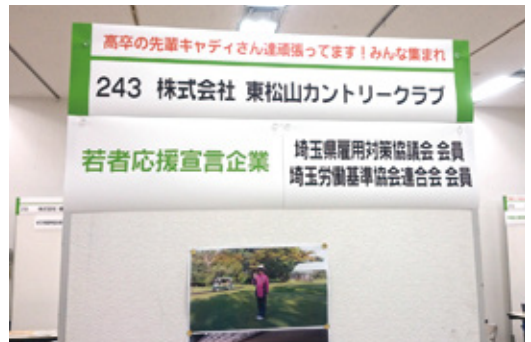
紹介料を得られる——というものだという。ゴルフ場として福利厚生に注力しており、女性特有の乳がんや子宮頸がんといった検査もゴルフ場が負担してくれるらしいが、同CCには全従業員が共通で利用できる珍しい福利厚生がある。それはインフルエンザの予防接種を行っていることだ。事前告知しておき、医師がゴルフ場に向いて接種してくれるという（個人負担1000円）。4、5年前から実施しているそうで、毎回ほぼ全従業員が接種

しているそうだ。

雇用対策協議会企業に 県主催の合同説明会に出展

同CCは埼玉県の雇用対策協議会会員企業の会員になっている。この協議会の事業内容は、埼玉県内企業の後継人材としての若年労働力の確保、定着促進、雇用改善などの『雇用対策事業』に関係行政の連携、協力、支援を得て取り組み、その実現を目指す——というものだ。

「この協議会が主催で就職の合同説明会を開催しており、当クラブも出展しています。埼玉県内のゴルフ場も数コース会員になっていきますが、出展しているも、高校生は地元で知名度のある企業のブースに集まる傾向がありますね。なかなか採用が難しい状況ではありますが、やはりこういった機会がある時にちよつとでも参加しないと、SNSと同様に何もしないと何も始まらないと思います。参加し続けています。キャディだけでなく、コース管理やフロントの人材確



埼玉県雇用対策協議会が主催の合同説明会に出展

保といった人の問題は非常に難しい問題です。DX化も考えていくべきだと思っていますが、福利厚生の充実は今後も注力していく点の一つに変わりはありません」（田村総支配人）
「相互扶助」の精神に基づき、より良い業務を目指す社風が根付いているという東松山CC。ゴルフ業界でも『働き方改革』がクローズアップされ始めているが、福利厚生も充実させて働きやすい職場環境を完備していることが、勤続年数の長さにつながっているのだろう。